

# イクボス通信

ikuboss・attakaboss



## イクボス・温かボスは

あったか

## 職場環境を変える!?

男性も女性も安心して働くことができ、子育て・介護との両立ができる職場環境整備のため、ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の推進に取り組むことを本学の管理職57名が宣言しました。

### 濱田州博学長 の宣言

- ・子育てや介護が必要な教職員に優しい制度の構築や職場環境の整備に努めます。
- ・本学の教職員が個性や能力を最大限発揮できるよう、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進するとともに、自らも充実した仕事と私生活を送る「イクボス」となります。
- ・教職員や学生に対しワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発活動を積極的に推進します。

### イクボス・温かボス宣言とは？

企業、団体、教育機関、NPO、行政等の事業者、管理職等が従業員や部下の仕事と子育て・介護の両立支援を「イクボス・温かボス宣言」として宣言し、職場におけるワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の推進等に取り組むものです。

一般社団法人長野県連合婦人会が発案した「長野県イクボス・温かボス創出プロジェクト」の取組であり、子育てや介護と仕事の両立ができる職場環境の整備と、新たな形の「ケアの社会化」を目指しています。この取組を進めることにより、男性も女性も安心して働くことができ、若い世代の結婚と出産、子育ての希望が実現できる“安心介護と子育ての社会づくり”につながります。

長野県、長野労働局、経済団体、労働団体、職域団体、教育機関など様々な団体・機関が発起人となって、取組について呼びかけを行っています。

本学はこの趣旨に賛同し、学長はじめ管理職が「イクボス・温かボス」に取り組む宣言を行いました。

### その他ボスの宣言より一部抜粋

- ・職員のワーク・ライフ・バランスを重視し、子育てや介護が必要な職員に配慮した職場環境の整備に努めます。
- ・育児休業や介護休業などを取得しやすいように積極的に声がけをします。
- ・率先して年次休暇を取得することにより、年次休暇のとりやすい職場環境を作り出します。
- ・一緒に働く人たちが悩みを抱え込まないように相談しやすい雰囲気を作ります。
- ・充実した日常生活を送れるよう、会議や資料作成の効率化を図り、時間外労働を減少させるなど、ワーク・ライフ・バランスを推進します。
- ・自ら仕事と私生活の調和を実践する「イクボス」となります。

あなたの上司、仲間がどんな宣言をしたのか、以下 URL からご覧ください。  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/iku-boss/>

また、長野県内にある企業・団体の「イクボス・温かボス宣言」は、以下 URL からご覧いただけます。  
<http://www17.plala.or.jp/fujinkai/>

# 浜野理事との懇談会を開催しました。



理事(特命戦略担当)  
はまのみやこ  
浜野 京

平成28年6月22日(水)、松本キャンパスにおいて浜野理事と教職員との懇談会が開催され、男女共同参画推進センターの運営委員など10名が参加しました。浜野理事からダイバーシティ推進の必要性や、異なったモチベーションの人が集まった集団の強さなどのお話がありました。その後、本学での現状をもとに環境整備について様々な方面から意見交換が行われました。



意見交換の内容

- ・他大学と連携し、女性教員のネットワークを強めてはどうか
- ・学部によって産休・育休中の取り扱いが異なり、在籍する教員で賄う学部と非常勤講師を雇う学部などの違いがある
- ・産休・育休を取得した教員が周りにいないので、体験談やQ&A、必要書類をWEB上にまとめてはどうか
- ・女性にとってロールモデルが少ない現状では、男性のメンターを持つことがプラスになる
- ・女性教員を増やす努力をしているが、教員公募に女性の応募が少ない
- ・信州は待機児童もなく子育てしやすく、働きやすい場所であることを首都圏に発信していく
- ・同窓会を利用し、卒業生に戻って来てもらう工夫をする
- ・教員1人1人が所属する学会等で本学の魅力についてアピールする
- ・海外から信州に呼び寄せる工夫をしてはどうか
- ・博士課程に進む女子学生が少なく、大学院に進んでもライフイベントが遅れる不安から途中で辞めてしまう学生もいる
- ・留学生のための宿舎が少なく受け入れられない状況があり、それによって本学からの留学生数も制限されてしまう
- ・工学部に女子学生が増えない理由の一つに、女子寮がないことが挙げられる
- ・他学部の寮を相互に利用することはできないのか

など

## 共通教育「キャリアビジョンと男女共同参画」を開講。 — 男女が共に輝く社会を考える —

平成28年8月9日(火)・10日(水)・11日(木)に男女共同参画推進センターの取組として男女共同参画に関する講義を開講しました。男女共同参画推進センターの運営委員をはじめ、学内の教員が男女共同参画に関する基礎知識や仕事と家庭の両立などについて講義しました。

ほとんどの学生は、「男女共同参画」や「ジェンダー」という言葉をあまり聞いたことも意識したこともないようでした。この3日間で、学生たちは自らのキャリアビジョンを描くための基礎知識として男女共同参画を学び、最終日には、男女共同参画の視点を取り入れた35歳までの各自のライフデザインを発表しました。このような内容の講義は、男女共同参画社会づくりに向けて、今後はすべての学生を対象に位置付けたいと思います。

職業や生き方について自己選択していくことを大切にし、性別に関わりなく一人の人間として個人の能力を最大限に発揮できるよう、今回の受講生に期待しています。



講義の様子

### 講義内容

テーマ	担当
第1回 男女共同参画とは	松岡 英子
第2回 信州大学における男女共同参画の取組	松岡 英子
第3回 平等とはなにか	辻 竜平
第4回 男女格差の構造	辻 竜平
第5回 進路選択とジェンダー	中島 美帆
第6回 仕事と子育て	兼元 美友
第7回 仕事と子育て(夫の立場から)	花崎 一夫
第8回 仕事と子育て(妻の立場から)	花崎 美紀
第9回 科学研究とジェンダー	中島 美帆
第10回 料理とジェンダー	高崎 禎子
第11回 男性と育児	坂口けさみ
第12回 未来の家族を考える	香山 瑞恵
第13回 プレゼンテーション準備	松岡、中島、
第14回 プレゼンテーション	花崎(美)、高崎、
第15回 リフレクション	坂口、香山

# オープンキャンパス等で 男女共同参画のブースを設置。

男女共同参画推進センターでは、オープンキャンパス等の外部向けイベントにおいてブースを設置し、パネル展示をしました。また、期間中700名以上の方にロールモデル集などの資料の配布を行いました。本学の取組を皆さんに知ってもらうよい機会となりました。

オープンキャンパス当日は、業務に従事する教職員の子どもをお預かりする一時保育を松本キャンパスと長野（教育）キャンパスで実施しました。本学初の試みとなりましたが、4名のお子さんがおもちゃで遊んだり、絵本を読んだり、お昼寝したりするなど、楽しく過ごす姿が見られました。



6月25日(土)  
信州大学ガイダンス  
松本キャンパス



7月17日(日) 18日(月)  
松本キャンパス



7月24日(日)  
長野(教育)キャンパス



8月6日(土)  
伊那キャンパス



7月23日(土)  
Nagano Girls' Seminar  
長野(工学)キャンパス



8月6日(土)7日(日)  
青少年のための科学の祭典  
上田キャンパス



一時保育の様子



## パパの育児休業を応援します!



人事院規則において、勤勉手当における除算期間の取り扱いが改正されたことをうけ、本学でも育児休業を取得した場合、期間が1箇月以下の場合、勤勉手当を減額せずに支払うこととなりました。これまでは、育児休業を取得した場合は、その取得期間を勤務期間から差し引いて減額し、支給されていましたが、2016年6月支給分から減額せず支給されています。これを機会に、パパも育児休業を取得してみませんか。

### 改正給与制度の内容

- 勤勉手当に係る勤務期間の除算改正に伴うもの  
《平成28年6月22日施行、平成28年4月1日遡及適用》
- 期末手当と同様に、育児休業の承認に係る期間が1箇月以下である場合には、当該育児休業期間を勤勉手当の勤務期間から除算しないこととする

## 国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョンから、総合工学系研究科博士課程1年のRozet Selene (ロゼ・セレーヌ)さんが奨学金を授与されました。

野蚕糸による医療用新素材開発の研究をしているロゼ・セレーヌさん(フランスより私費留学)は、国際ソロプチミスト上田の推薦によって「2015年度リジョナルプロジェクト女子大学院生・女子大学生奨学金豊中基金」を授与され、4月21日(木)に授与式が行われました。「女子大学院生・女子大学生奨学金豊中基金」は学業・人材ともに優秀な外国籍の女子大学院生・大学院生に対し、奨学金(120万円)を援助し、将来社会に貢献し得る人材を育成することを目的としています。



贈呈式で発表をする Rozet Selene さん



Rozet Selene さん(後ろ中央右)とソロプチミスト上田の皆さん

国際ソロプチミストとは、管理職または専門職の分野で活躍する女性で組織される奉仕団体です。

## ロールモデル集はスプレウェブサイトにて閲覧できます。

信州大学の教職員ロールモデル集をウェブサイトに公開しました。出産・育児・介護等を経験しながら研究や仕事を続けている教職員の活躍を紹介していますので、キャリアデザインやライフプランの参考にいただければ幸いです。また男女共同参画をテーマとした学生座談会の様子も掲載しています。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/role-models/>



このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事されている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

平日は私の帰りが遅くほとんど家族とのふれあいが持てないので、名誉挽回とばかりに週末は私が料理を担当します。得意料理は学生時代から作り続けているパスタで、「今日はパパのトマトソース食べたい！」なんて嬉しいことを言ってくれる子供たちは、パパを喜ばせるツボを良く心得てくれています。もちろん、後片付けもしますが、画像診断医という職業柄、立体的



な構造を考えながらいかに効率良く食洗機に食器を配置するか…なんてことにやりがいを感じつつ家事に励んでいます。どうやら妻は食洗機が苦手なようで結構感謝されたりします。

やまだ あきら  
**山田 哲 先生** | 学術研究院助教(医学系(附属病院))  
放射線科



### 家族構成

妻、長女11歳、次女7歳、  
長男5歳

### お子様からの呼ばれ方

パパ

共働きながら私の不在の間の育児と家事を全てきりもりしてくれている妻には感謝の言葉しかないのですが、それでも私のささやかな子育てへの貢献にも、素直な感謝を示してくれる妻と子供たちが、私の毎日の活力になっています。



次回はコチラ! 谷口 正洋 技師長 医学部附属病院 放射線部

お問い合わせ  
**信州大学 男女共同参画推進センター (SuFRE)**

スプレ

信州大学 スプレ

検索



松本分室  
〒390-8621 松本市旭 3-1-1  
内線 811-2140  
TEL 0263-37-2167  
FAX 0263-37-3314  
mail sufre-m-ml@shinshu-u.ac.jp

教育学部分室  
〒380-8544  
長野市西長野 6-0  
内線 831-4048  
TEL/FAX 026-238-4048  
mail sufre-e-ml@shinshu-u.ac.jp

工学部分室  
〒380-8533  
長野市若里 4-17-1  
内線 821-5693  
mail sufre-t-ml@shinshu-u.ac.jp

農学部分室  
〒399-4598  
上伊那郡南箕輪村 8304  
内線 851-3120  
mail sufre-a-ml@shinshu-u.ac.jp

繊維学部分室  
〒386-8567  
上田市常田 3-15-1  
内線 841-5358  
mail sufre-f-ml@shinshu-u.ac.jp